

# 抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 年 月 日 20. 4. 18		
申請者	所属科: 外科	医師名: 石田秀之	印
抗がん剤プロトコール内容			
略名	CPT-11		
適応臓器名	胃癌(手術不能または再発)、結腸・直腸癌(手術不能または再発)、乳癌(手術不能または再発)、 小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸癌、卵巣癌、有棘細胞癌、悪性リンパ腫(非ホジキンリンパ腫)		
薬剤名	塩酸イリノテカン注(CPT-11)(商品名:カンプト注)		
注意点	<p>骨髄機能抑制あるいは下痢に起因したと考えられる死亡例が報告されている。</p> <p>禁忌: 骨髄機能抑制のある患者、感染症を合併している患者、下痢(水様便)のある患者、腸管麻痺、腸閉塞のある患者、間質性肺炎または肺線維症の患者、多量の腹水・胸水のある患者、黄疸のある患者。</p> <p>硫酸アタザナビルを投与中の患者。</p>		
用法・用量・投与スケジュール			
<p>小細胞肺癌、非小細胞肺癌、乳癌(手術不能または再発)、有棘細胞癌はA法。</p> <p>胃癌(手術不能または再発)、結腸・直腸癌(手術不能または再発)、子宮頸癌、卵巣癌はA法またはB法。</p> <p>悪性リンパ腫(非ホジキンリンパ腫)はC法。</p> <p>A法: 成人に1日1回 100 mg/m<sup>2</sup>を1週間間隔で3~4回点滴静注し、少なくとも2週間休薬する。</p> <p>B法: 成人に1日1回 150 mg/m<sup>2</sup>を2週間間隔で2~3回点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。</p> <p>C法: 成人に1日1回 40 mg/m<sup>2</sup>を3日間連日点滴静注する。これを1週ごとに2~3回繰り返し、少なくとも2週間休薬する。</p> <p>A法・B法では500 ml以上の点滴に混和し、90分以上かけて点滴静注する。</p> <p>C法では250 ml以上の点滴に混和し、60分以上かけて点滴静注する。</p> <p>本剤投与前に前投薬(5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤+デカドロン 8~20mg)を行う。</p>			
Evidence	添付文書。		
備考			
がん化学療法委員会承認日: 20. 4. 21			